

### 福島第二原子力発電所 廃止措置実行計画 2026 について

2026 年 5 月 20 日

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第二原子力発電所

当所では、廃止措置の実施状況や今後の予定を分かりやすくお伝えするため、「福島第二原子力発電所廃止措置実行計画」（以下、「廃止措置実行計画」という。）を作成しております。

このたび、2025 年度の実績ならびに 2026 年度の計画がまとまりましたので、「福島第二原子力発電所廃止措置実行計画 2026」（以下、「廃止措置実行計画 2026」という。）としてお知らせいたします。

引き続き、「復興と廃炉の両立」を目指し、地域の皆さまのご理解をいただきながら、安全・着実に廃止措置を進めてまいります。

なお、廃止措置実行計画 2026 は、廃止措置計画に定めた主要な作業プロセスのうち、第 1 段階となる解体工事準備期間（10 年）を中心に示したものです。また、安全かつ計画的に廃止措置を進められるよう、廃止措置実行計画は定期的に見直してまいります。

#### ○別紙

福島第二原子力発電所廃止措置実行計画 2026

以 上

【本件に関するお問い合わせ】  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第二原子力発電所 広報部 0240-25-4111（代表）

# 福島第二原子力発電所 廃止措置実行計画2026

---

2026年5月20日  
東京電力ホールディングス株式会社

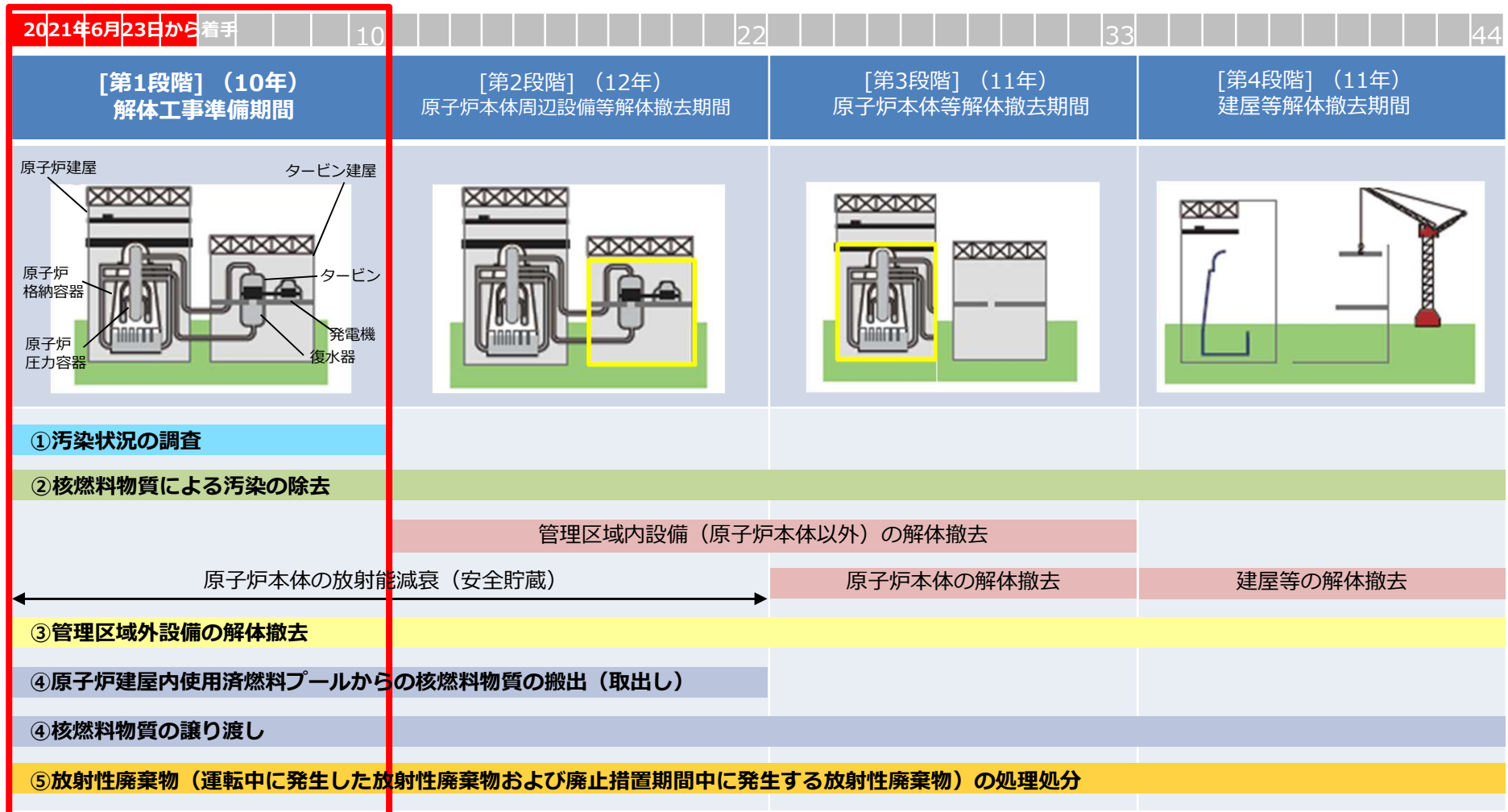
**TEPCO**

- 本資料は、国に提出している福島第二原子力発電所の廃止措置計画の実施状況や今後の予定を、毎年更新してお知らせしているものです。
- このたび、2025年度の実績や2026年度の計画がまとまりましたので、お知らせいたします。
- これまでのところ、一部工程の見直し等がありますが、概ね計画通りに作業を進めています。
- 今後も計画に基づき、安全・着実に、地域の皆さまとともに廃炉作業を進めてまいります。

# 廃止措置実行計画2026について（2 / 2）

## 取組状況

- 廃止措置計画に定めた工程（44年間で実施予定）のうち、第1段階となる解体工事準備期間（10年間）をお示しております。
- 第1段階においては、管理区域外設備の解体撤去を開始するとともに、管理区域内については汚染状況の調査を行うことで廃棄物処分に向けた処理方法の検討や、管理区域内の効率的な解体および敷地利用計画の策定を行い、第2段階へのスムーズな移行を図ってまいります。
- 一部工程等の見直しを行っていますが、計画通り進捗しており、廃止措置計画に定めた44年間の工程に影響はありません。



# 廃止措置作業の進捗状況

廃止措置計画に定めた工程	主な進捗状況	ページ
①汚染状況の調査	<p>&lt;目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「②核燃料物質による汚染の除去」の作業計画策定や解体撤去作業に伴い発生する廃棄物量を把握し、適切な処分計画を立案するため、汚染状況の調査を実施します。</li> </ul> <p>&lt;進捗&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2025年度は主に、現場調査を実施しており、4号炉では、原子炉格納容器内部のコンクリート等を採取しました。</li> <li>■ 2026年度は、採取した試料の分析を行うとともに、他号炉での試料採取に着手します。また、現場調査での実測値等を踏まえ、これまでの評価結果の妥当性を確認し、必要に応じて再評価を行います。</li> </ul>	P6～13
②核燃料物質による汚染の除去	<p>&lt;目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 廃止措置における作業員の被ばく低減、廃棄物の適正処分を図るため、安全貯蔵期間による放射能の減衰効果も考慮した上で、機器や配管の除染を実施します。</li> </ul> <p>&lt;進捗&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2025年度は大きな進捗はありませんが、「①汚染状況の調査」の結果を踏まえて除染計画を検討しています。</li> </ul>	P15～19
③管理区域外設備の解体撤去	<p>&lt;目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 廃止措置を進めていく上で必要な作業スペースや重機などの寄付きエリアを確保するため、既に使用を終了した屋外設備の解体を実施します。</li> </ul> <p>&lt;進捗&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2025年度は3、4号炉の薬液タンクを解体しました。また、軽油タンク等の油抜き作業を継続しており、2026年度以降の解体撤去に繋げていきます。</li> </ul>	P21～25

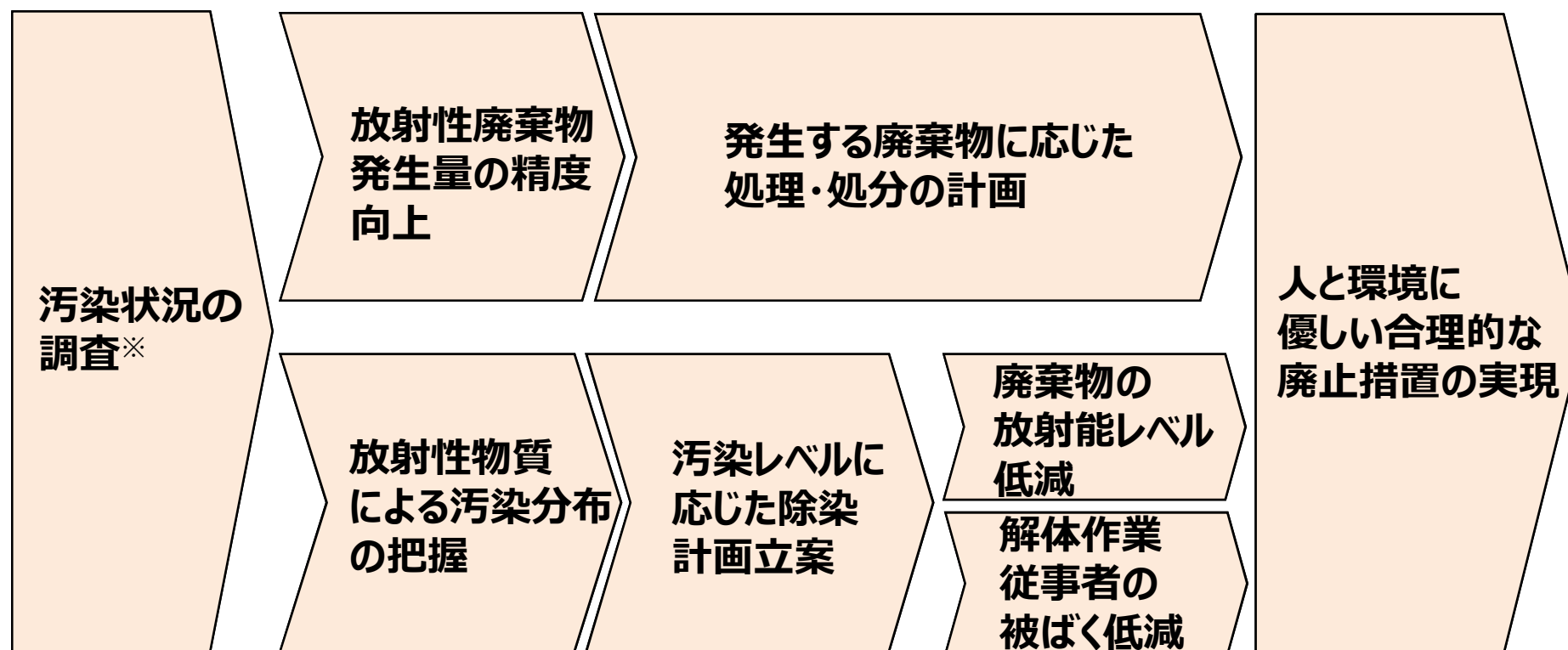
# 廃止措置作業の進捗状況

廃止措置計画に定めた工程	主な進捗状況	ページ
④核燃料物質の搬出	<p>&lt;目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第3段階の原子炉解体開始にあたって、使用済燃料を原子炉建屋にある使用済燃料プールから搬出する必要があるため、乾式貯蔵施設（福島第二敷地内に設置予定）等に搬出します。</li> </ul> <p>&lt;進捗&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 乾式貯蔵施設の設置については、廃止措置計画変更認可の審査対応を継続しております。</li> </ul>	P27～31
⑤廃棄物の処理処分	<p>&lt;目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 廃止措置が完了するまでに、発電所構内で発生した廃棄物の処分を完了するため、適切な処理・処分方法を検討し、処分を実施します。</li> </ul> <p>&lt;進捗&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2025年度は、ドラム缶に入れた固体廃棄物をモルタルで固型化するための設備の更新が完了しました。</li> <li>■ 設備の解体撤去等により発生した廃棄物については、記録や適切な測定・評価により国の基準を満たすことを確認したうえで、一般の産業廃棄物として処分、または資源として有効活用し、廃棄物の低減に努めています。</li> </ul>	P33～38

- ① 汚染状況の調査
- ② 核燃料物質による汚染の除去
- ③ 管理区域外設備の解体撤去
- ④ 核燃料物質の搬出
- ⑤ 廃棄物の処理処分

## ＜汚染状況の調査＞全体概要

- 汚染状況の調査を行い、作業員の被ばく低減に向けた除染計画の策定、ならびに解体撤去工事に伴って発生する廃棄物の発生量を把握し、人と環境に優しい合理的な廃止措置に努めます。



※汚染状況の調査の進捗についてはP12を参照ください。

## ＜汚染状況の調査＞ 放射性廃棄物の発生量について

7

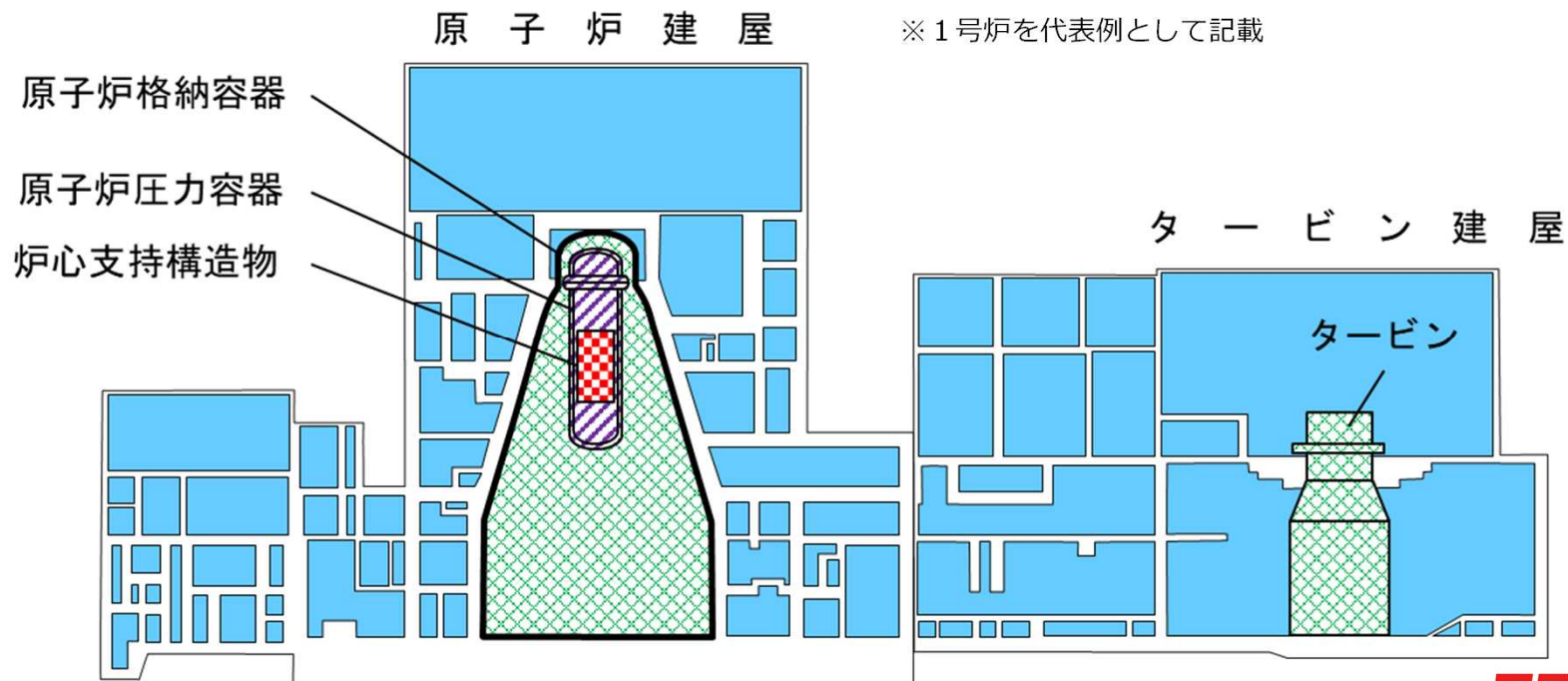
- こちらは、現在の主要施設における推定汚染分布、および推定廃棄物量になります。
- 汚染状況の調査により、廃棄物発生量の精度向上を図り、廃棄物の処分計画立案に活用します。

### 主な廃止措置対象施設の除染前における推定汚染分布／推定廃棄物量※

- (L1) : 低レベル放射性廃棄物のうち、放射能レベルの比較的高いもの / 約90トン
  - (L2) : 低レベル放射性廃棄物のうち、放射能レベルの比較的低いもの / 約1,040トン
  - (L3) : 低レベル放射性廃棄物のうち、放射能レベルの極めて低いもの / 約10,190トン
  - (L4) : 放射性物質として扱う必要のないもの / 約19,200トン
- 上記以外に、放射性廃棄物でない廃棄物 / 約582,000トン

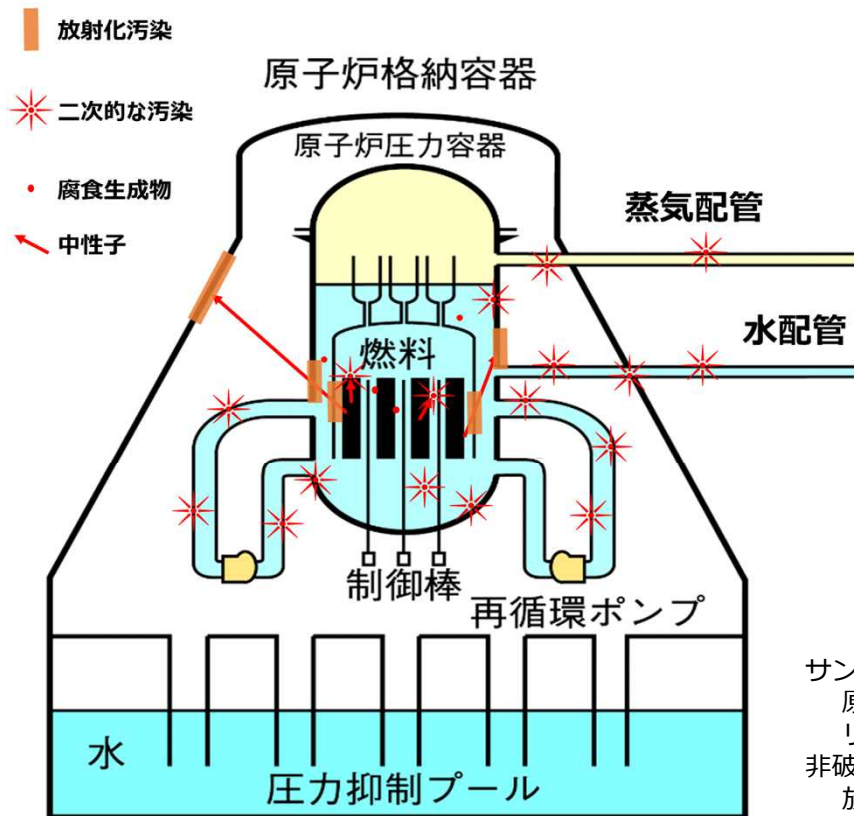


汚染状況の調査を行うことで  
廃棄物発生量の精度向上を  
図り見直しを行う予定



# <汚染状況の調査> 汚染のメカニズム

- 汚染には、放射化汚染と二次的な汚染があります。
- それぞれの汚染に対し、計算による評価解析と実測による現場調査を計画・実施しています。



## 放射化汚染

原子炉運転中の中性子照射により炉心部等の構造材が放射化して生成される汚染  
<測定方法> サンプル測定

## 二次的な汚染

炉内構造材、給水などから発生する腐食生成物が燃料棒等に付着し、放射化した後に剥離するなどして炉水を介し機器および配管等に付着した汚染  
<測定方法> サンプル測定、非破壊測定

サンプリング測定の内容：

原子炉ならびに原子炉内構造物からの金属試料採取・分析、格納容器からのコンクリート採取・分析、建屋浸透汚染調査のための建屋コンクリート試料採取・分析

非破壊測定の内容：

放射線測定器による線量当量率測定、表面汚染密度測定、配管付着放射能測定

腐食生成物：

原子炉を構成している機器、装置、配管などの構成材料の腐食によって生成された物質

## ○2025年度の主な進捗

### 放射化汚染状況の調査

#### ● 現場調査・試料採取

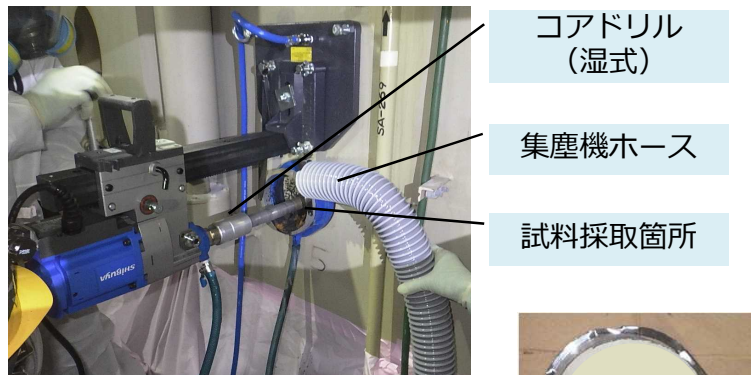
- 放射化汚染の現場調査（サンプリング測定：格納容器試料採取）  
（4号炉：2025年9月26日着手～2026年3月27日完了）

格納容器の放射化汚染の状況を調査するため、格納容器鋼材ならびにコンクリート材より試料を採取。試料採取箇所は13箇所、計37試料を採取しました。

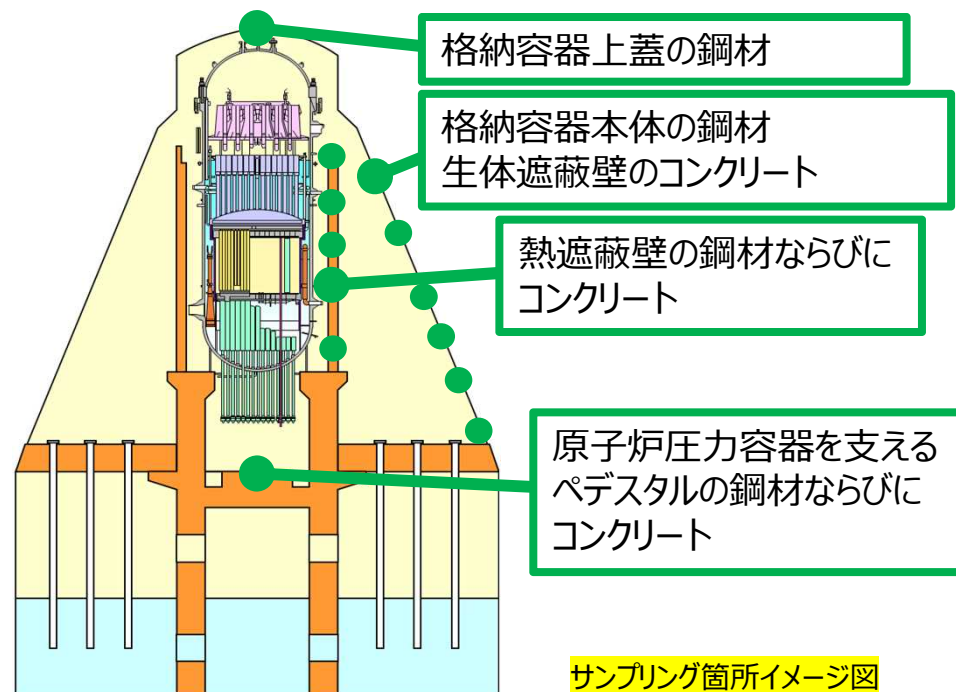
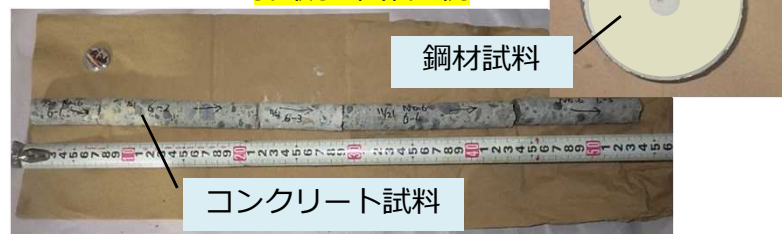
採取した試料は、2026年度に社外分析機関にて分析を行います。

試料採取時は、放射性ダストの飛散抑制のため安全対策として、湿式によるコア抜きに加えて集塵機による集塵を行いながら実施しました。

試料採取風景



採取した試料の例



サンプリング箇所イメージ図

## ○2025年度の主な進捗

### 二次的な汚染状況の調査

#### ● 現場調査・試料採取

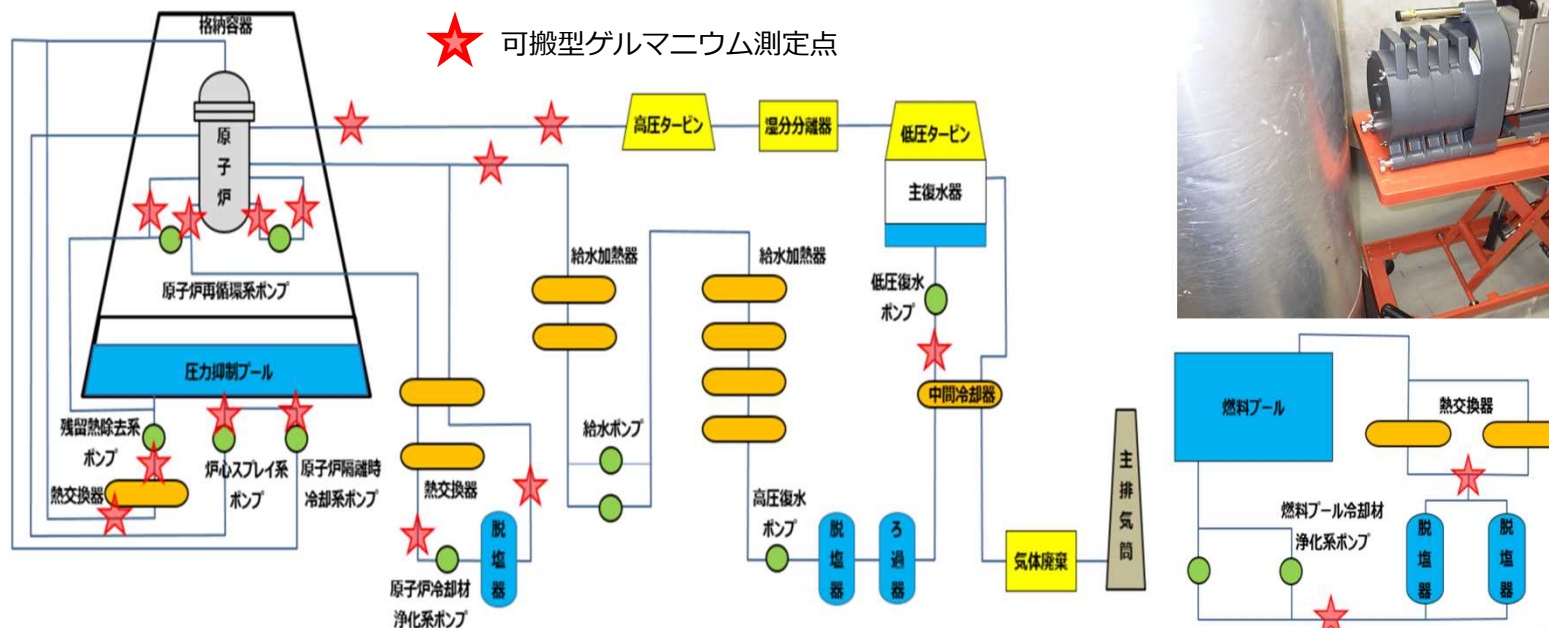
- 二次的な汚染の現場調査（非破壊測定）

（1号炉：2025年11月25日着手～2026年9月25日完了予定）

機器・配管内に存在する二次的な汚染状況を調査するため、可搬型ゲルマニウム測定器を用いて配管の外より内面の付着放射能測定（16箇所）を実施予定でしたが、測定器の不具合に伴い、調査を延期することとしました。測定器の不具合解消後に調査を再開します。

可搬型ゲルマニウム測定器による配管付着放射能測定

#### 測定箇所のイメージ



## ○2026年度の主な計画

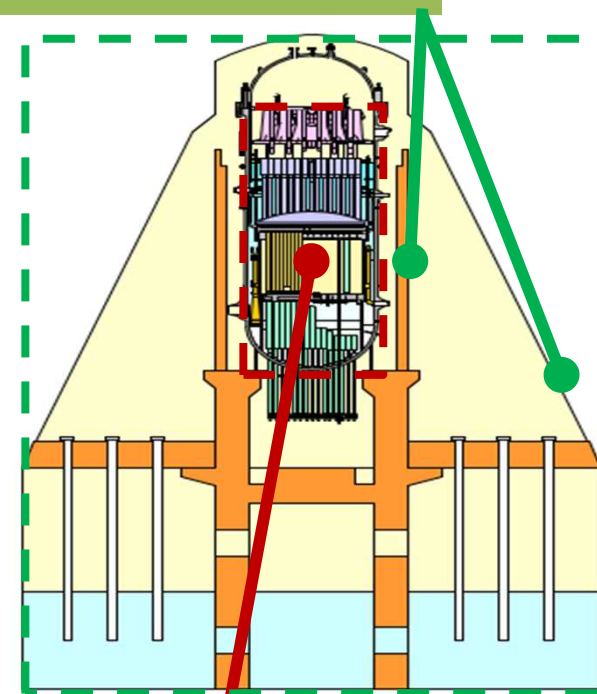
### 放射化汚染状況の調査

#### ● 現場調査・試料採取

- 放射化汚染の現場調査  
(サンプリング測定：格納容器試料採取) (1号炉)  
格納容器の放射化汚染状況を試料採取・分析することで調査する。
- 放射化汚染の現場調査  
(サンプリング測定：炉内試料採取) (2～4号炉)  
原子炉および炉内構造物の放射化汚染状況を試料採取・分析することで調査する。  
2023年度より実施していた、試料採取装置の設計製作は2025年度に完了。  
2026年度以降に試料採取を計画。
- 放射化汚染の現場調査  
(サンプリング分析：炉内試料分析) (2、4号炉)  
2026年度は2号炉、4号炉について開始予定。
- 放射化汚染の現場調査  
(サンプリング分析：格納容器試料分析) (4号炉)

## 放射化汚染状況の調査

### 格納容器試料採取



### 炉内試料採取

# ＜汚染状況の調査＞進捗

## ○2025年度末までの主な進捗

	作業工程	主な作業内容	各号炉の状況
放射化汚染状況の調査	文献調査	放射化汚染に関する文献調査	1～4号炉：2021年度完了
	評価解析	放射化汚染の計算評価	1～3号炉（原子炉周辺）：2024年度完了 4号炉（原子炉周辺）：2022年度完了 1～4号炉（炉内制御棒等）：2024年7月10日～ 2026年3月18日完了
	現場調査・ 試料採取	放射化汚染の現場調査 （サンプリング測定：炉内試料採取）	4号炉：2024年1月15日～継続中（試料採取の準備中）
		放射化汚染の現場調査 （サンプリング測定：格納容器コンクリート 試料採取）	4号炉：2025年9月26日～2026年3月27日完了
二次的な汚染状況の調査	文献調査	二次的な汚染に関する文献調査	1～4号炉：2021年度完了
	評価解析	二次的な汚染の計算評価	1、2号炉概略評価：2023年度完了 3、4号炉概略評価：2022年度完了 1～4号炉詳細評価：2024年8月26日～ 2026年3月25日完了
	現場調査・ 試料採取	二次的な汚染の現場調査 （非破壊測定）	1号炉：2025年11月25日～2026年9月25日完了予定 2号炉：2024年度完了 3号炉：2023年度完了 4号炉：2022年度完了
		二次的な汚染の現場調査 （サンプリング測定：建屋浸透汚染試料採取）	1～4号炉：2024年度完了

# ＜汚染状況の調査＞ 第1段階における工程

年度		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	備考	
1～4号炉	放射化汚染の調査	文献調査											
		評価解析	1～4号炉計算評価				現場調査を踏まえた検証						
		現場調査・試料採取			炉内試料採取装置の設計製作		1～4号炉内試料採取・分析						
	二次的な汚染の調査	文献調査											
		評価解析	1～4号炉計算評価				現場調査を踏まえた検証						
		現場調査・試料採取		4号炉	3号炉	2号炉	1号炉※1	その他共用設備※2					※1：可搬型ゲルマニウム測定器の不具合のため実施時期延長 ※2：その他共用設備に対する二次的な汚染状況の調査内容検討のため実施時期変更
変更前				浸透汚染									
変更後		4号炉	3号炉	2号炉		1号炉※1	その他共用設備※2						
										汚染状況の調査結果を廃止措置計画へ反映			

＜凡例＞

- ：検討および作業の期間
- ：実績
- ：変更内容



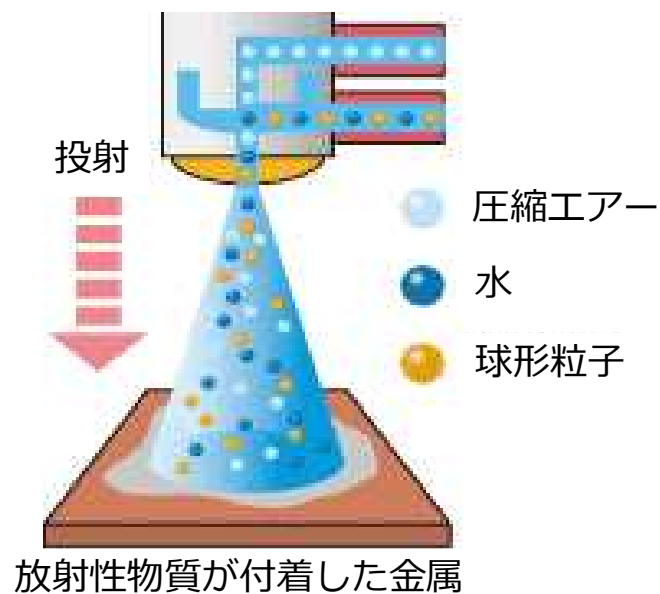
- ① 汚染状況の調査
- ② 核燃料物質による汚染の除去
- ③ 管理区域外設備の解体撤去
- ④ 核燃料物質の搬出
- ⑤ 廃棄物の処理処分

- 解体撤去作業等に伴う被ばくを可能な限り低減するため、除染による被ばく量の低減が有効と考えられる機器や配管等を対象に、機械や薬品を用いて除染を行います。

## 除染の方法

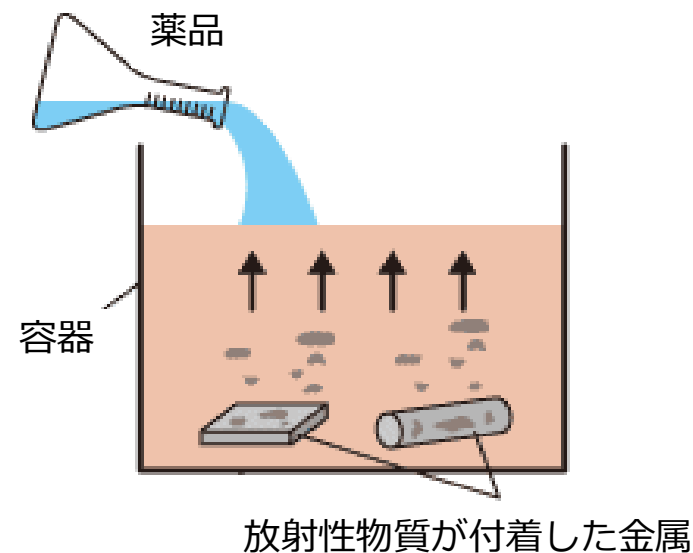
### 機械的除染

放射性物質を含む汚れを金属などの硬い粒（球形粒子）をぶつけて削り取る方法



### 化学的除染

放射性物質を含む汚れを薬品を使って溶かす方法



『出典：公益財団法人原子力安全技術センターHPをもとに作成』

## ○目標工程

### ● 初回除染工事（2021年度実施済）

- 1～4号炉において、制御棒駆動機構補修室内の設備・機器の汚染の除去を実施しました。



1号炉除染作業



3号炉除染作業

### ● 初回除染以降の除染工事

- 2025年度までに完了した二次的な汚染状況の調査結果を踏まえて除染計画を検討しています。

## ○目標工程

### ● 原子炉本体の放射能減衰（安全貯蔵※）（2021年度～2042年度）

- 除染による放射能レベルの低減に加え、放射能レベルの比較的高い領域を計画的に一定期間管理し、残存放射能の減衰を図ります。
- 安全貯蔵後に、原子炉本体等の解体撤去を実施します。
- 放射線レベルの比較的高い領域については、安全貯蔵措置対象弁による隔離措置、安全貯蔵措置範囲内の施錠・区画等を行い入域を制限します。



対象弁の隔離措置

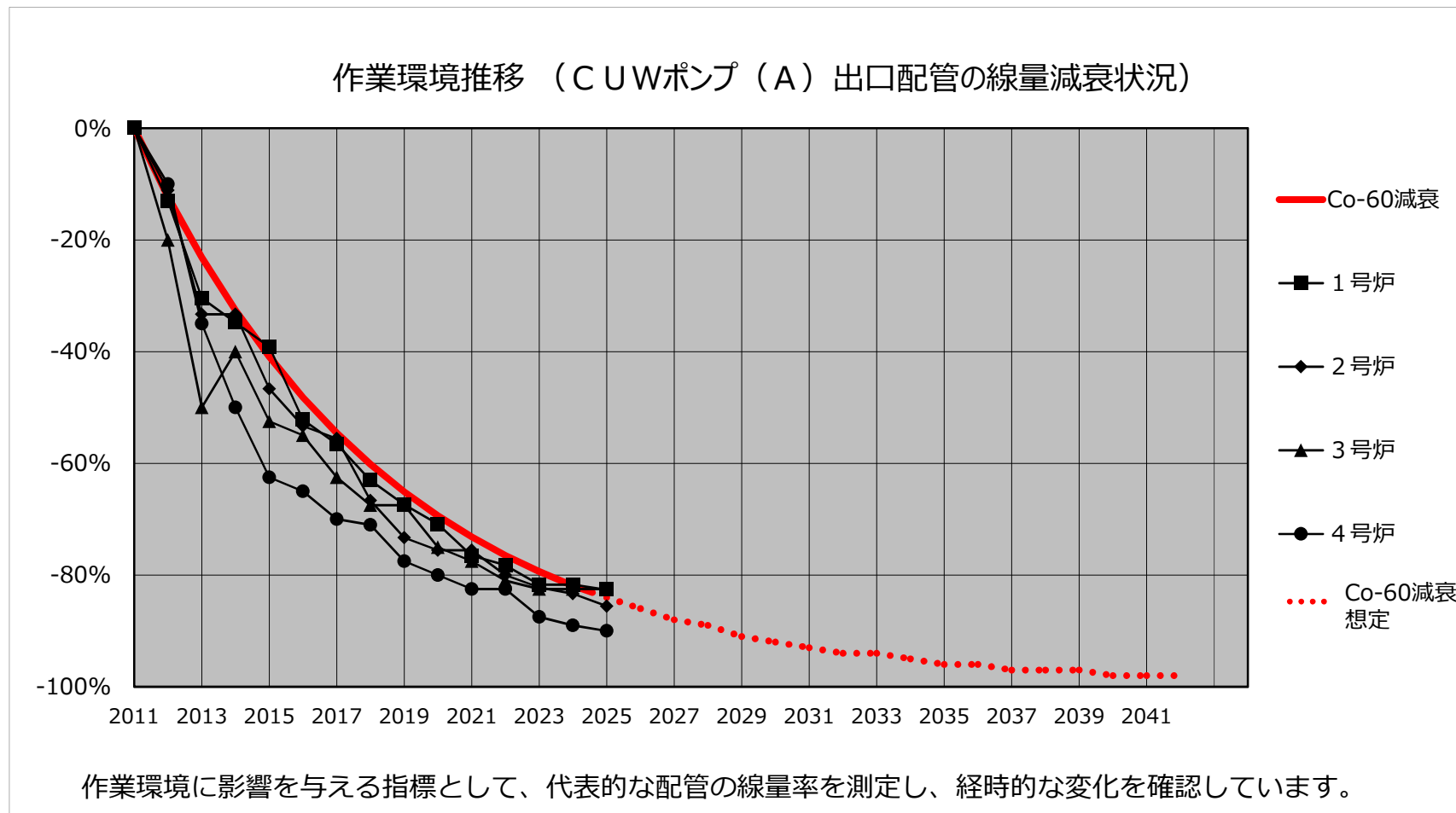


入域制限エリアの区画

※ 安全貯蔵：放射能が十分低い状態になるまで、必要な期間、施設を安全に管理すること

## ＜放射性核種の減衰＞安全貯蔵期間の減衰傾向

- プラント内の放射線量は、主に運転期間中に生成されたコバルト-60 (Co-60) の半減期に従って、減衰していきます。



C UW : 原子炉冷却材浄化系 (原子炉水中の不純物を除去し水質を維持するための系統。)

Co-60 : 人工放射性物質 (核種) の1つで、安定なコバルト-59 (Co-59) が中性子を吸収したもの。半減期は約 5.3 年。

# ＜核燃料物質による汚染の除去＞ 第1段階における工程

年度		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	備考
1 5 4 号 炉	初回除染工事	■										
	初回以降の除染工事					■	汚染状況の調査の結果を踏まえて計画				※※：2031年度以降も継続	
	原子炉本体の放射能減衰 (安全貯蔵)	■	■	■	■	■	■				※※：2031年度以降も継続	

＜凡例＞  
：検討および作業の期間  
：実績

## 実行計画における主要な作業工程

---

- ① 汚染状況の調査
- ② 核燃料物質による汚染の除去
- ③ 管理区域外設備の解体撤去
- ④ 核燃料物質の搬出
- ⑤ 廃棄物の処理処分

## ＜管理区域外設備の解体撤去＞全体概要

21

- 屋外に設置しており、既に使用を終了している設備・機器について、安全を確保するための機能に影響を与えない範囲内で解体撤去工事を行います。
- 解体撤去により空いたスペースは、今後の廃止措置における作業スペースや重機などの寄付きエリアとして活用します。
- 解体物のうち、有用物は可能な限り有効利用に努め、廃棄物は法規制に従い適切な処理・処分を行います。

### 管理区域外（屋外）に設置されている設備（例）



＜主変圧器＞



＜軽油タンク＞

# ＜管理区域外設備の解体撤去＞ 解体撤去状況

## ○目標工程

- 以下に示す管理区域外設備の解体撤去を第1段階にて計画的に実施します。

＜凡例＞  
 完了：解体撤去まで完了  
 着手：解体撤去中  
 未着手：未実施  
 ( ) 内は数量を示す

### 主変圧器 (2027～2030年度)

タービン発電機で発生した電圧を、送電電圧である275kVまたは500kVに昇圧するための設備



未着手 (4台)

### 窒素供給装置の解体撤去 (2022、2023年度)

窒素ガスで格納容器内に置換し、不活性（酸素濃度4%以下）にし、格納容器内の可燃性ガスの反応を防止するほか、運転時に格納容器の内圧調整等を行うための設備の一部



完了 (1式)

### 軽油タンクの解体撤去 (2026、2027、2032年度)

外部電源喪失時の非常用発電設備に燃料（軽油）を供給するためのタンク



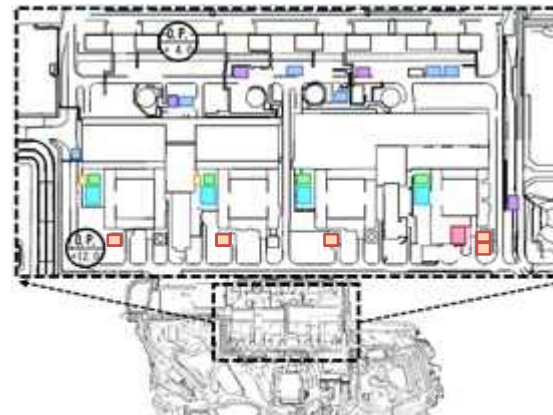
未着手 (5基)

### 所内変圧器 (2027～2030年度)

タービン発電機の発生電力の一部を、高圧所内電源設備に供給するため、発電機～主変圧器間の特別高圧母線から分岐して受電し、6.9kVに降圧するための所内電源用の変圧器



未着手 (8台)



各設備を解体撤去した敷地は、今後の廃止措置における作業スペースや重機などの寄付きエリアとして活用します。

### 薬液タンクの解体撤去 (2023～2025年度)

復水浄化系のうち、復水脱塩器における陽および陰イオン交換樹脂の再生に用いる薬液（苛性ソーダ・硫酸）を貯留しておくためのタンク



完了 (4基)

### 励磁変圧器 (2027、2029年度)

発電機出力電圧を降圧し、発電機の界磁に電力を供給するサイリスタ励磁装置の電源変圧器  
 ※ 3号炉および4号炉のみ発電機の励磁方式としてサイリスタ方式を採用



未着手 (2台)

### ポンベ建屋の解体撤去 (2021、2022、2026～2027年度)

発電機構成部品より発生する熱の冷却媒体として用いる水素ガスや起動・停止時の置換用等で用いられる炭酸ガス、窒素ガスのポンベを保管する建屋  
 ※ 予備ポンベ建屋含む



完了(3棟)

未着手 (3棟)

## ＜管理区域外設備の解体撤去＞ 2025年度実績

23

### ○2025年度の主な進捗

#### ● 薬液タンクの解体撤去

- － 3号炉 薬液タンクの解体撤去（2024年10月22日～2025年6月19日）
- － 4号炉 薬液タンクの解体撤去（2024年11月16日～2025年6月19日）

#### ● 軽油タンクの解体撤去の準備作業

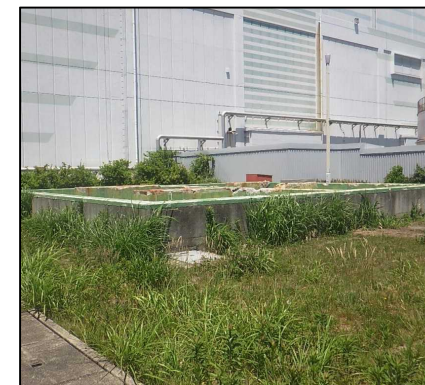
- － 2号炉 軽油タンク(A)の油抜き（2024年8月1日～2025年9月30日）

#### ● 主変圧器の解体撤去の準備作業

- － 4号炉 主変圧器の油抜き（2025年6月10日～2025年10月30日）



3号炉 薬液タンク解体前・後



4号炉 薬液タンク解体前・後

## ○2026年度の主な計画

### ● 軽油タンクの解体撤去および準備作業

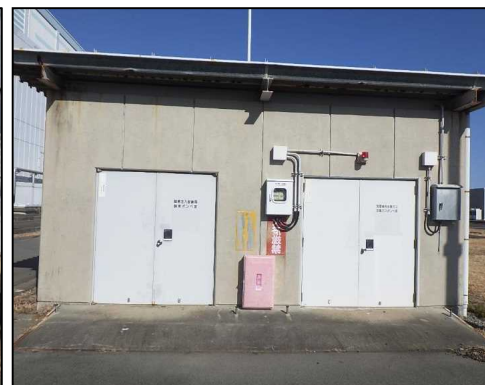
- － 2号炉 軽油タンク(A)の解体撤去
- － 4号炉 軽油タンク(A)の油抜き

### ● ボンベ建屋の解体撤去

- － 2号炉 ボンベ建屋の解体撤去
- － 3号炉 ボンベ建屋の解体撤去
- － 4号炉 ボンベ建屋の解体撤去



2号炉 軽油タンク (A)



2～4号炉 ボンベ建屋



# ＜管理区域外設備の解体撤去＞ 第1段階における工程

年度		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	備考	
1～4号炉	変圧器※1	変更前	1～4号炉油抜き取り					1～4号炉解体撤去				※1：主変圧器、所内変圧器、励磁変圧器	
		変更後	1～4号炉油抜き取り※2					1～4号炉解体撤去					※2：抜き取り完了
	窒素供給装置		解体撤去										
	軽油タンク※3	変更前		油抜き取り				1～4号炉解体撤去※4					※3：使用を終了した1号炉軽油タンク（A,B）および2～4号炉軽油タンク（A） ※4：他工事との干渉、軽油の有効活用を目的に解体実施時期の見直し。3号炉軽油タンクの解体は2032年度に予定
		変更後		油抜き取り					1、2、4号炉解体撤去※4				
	薬液タンク			1～4号炉解体撤去									
	ポンベ建屋	変更前	3/4号炉予備ポンベ建屋	1/2号炉予備ポンベ建屋									※5：工程調整
			解体撤去	解体撤去				2、3、4号炉ポンベ建屋					
		1号炉ポンベ建屋	解体撤去				解体撤去※5						
		3/4号炉予備ポンベ建屋	1/2号炉予備ポンベ建屋										
変更後	解体撤去	解体撤去											
	1号炉ポンベ建屋	解体撤去					2、3、4号炉ポンベ建屋				解体撤去※5		

＜凡例＞

- ：検討および作業の期間
- ：実績
- ：変更内容

## 実行計画における主要な作業工程

---

- ① 汚染状況の調査
- ② 核燃料物質による汚染の除去
- ③ 管理区域外設備の解体撤去
- ④ 核燃料物質の搬出
- ⑤ 廃棄物の処理処分

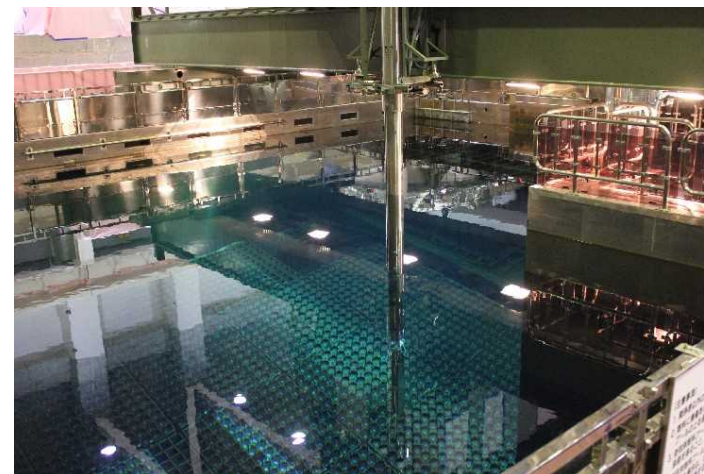
## ＜核燃料物質の搬出＞全体概要

- 使用済燃料プールに貯蔵中の使用済燃料は、所内に設置する乾式貯蔵施設※に搬出するとともに、廃止措置が終了するまでに、全量を再処理事業者へ譲り渡します。
- なお、新燃料については、加工事業者等に譲り渡します。

※ 乾式貯蔵施設：使用済燃料を金属製の容器（キャスク）に収納して空気の自然対流により冷却・貯蔵する施設

### 使用済燃料および新燃料の現在の貯蔵数量

	使用済燃料	新燃料
1号炉	2,334 体	200 体
2号炉	2,402 体	80 体
3号炉	2,360 体	184 体
4号炉	2,436 体	80 体



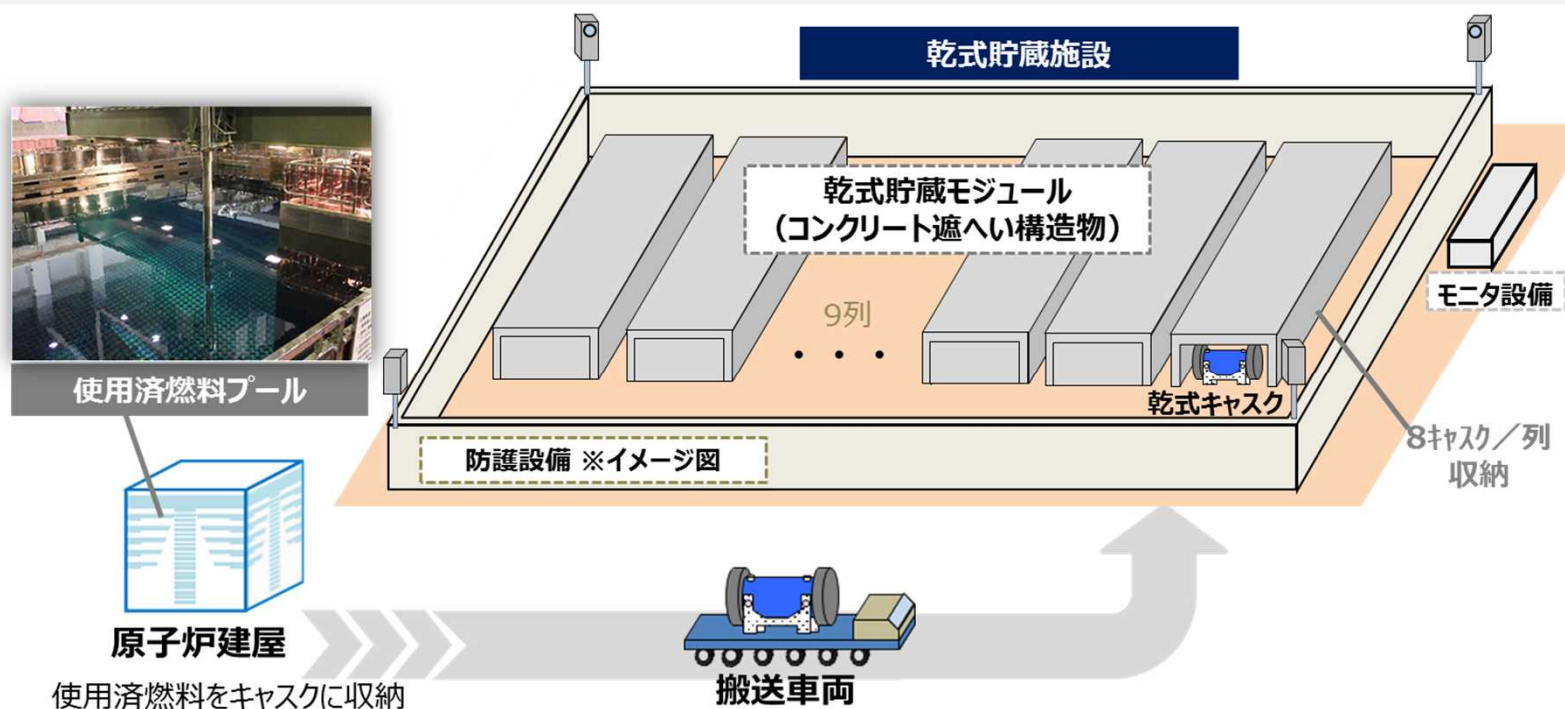
2号炉 使用済燃料プール



## ＜核燃料物質の搬出＞ 乾式貯蔵施設の概要

29

- 乾式キャスクを用いた使用済燃料の乾式貯蔵は、冷却に水や電源を使用しない安全性に優れた貯蔵方式です。
- 乾式貯蔵モジュールは、遮へい機能を有するとともに乾式キャスクの除熱機能を阻害しない設計です。
- 乾式キャスクは、4つの安全機能（閉じ込め、遮へい、臨界防止、除熱）を備えており、数多くの採用実績があります。  
貯蔵期間中、乾式キャスクの安全機能が健全であることを監視します。



# <核燃料物質の搬出> 第1段階における工程 (1 / 2)

年度	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	備考
1号炉	変更前		天井クレーン制御盤リブレース (調達・製造期間含む)		燃料取替機制御盤リブレース (調達・製造期間含む)			使用済燃料 乾式貯蔵施設へ搬出 <sup>※3</sup>			※1：サイトバンカ天井クレーン不具合により中断し、再開時期検討中 サイトバンカ：制御棒などの放射性固体廃棄物を一時的に貯蔵保管するための設備 ※2：使用済制御棒移送中止による代替作業（SFP大規模漏えい時の敷地境界線量低減） ※3：工程検討中
	変更後			燃料取替機点検		使用済制御棒の移送 <sup>※1</sup>			使用済燃料 乾式貯蔵施設へ搬出 <sup>※3</sup>		
2号炉	変更前					天井クレーン制御盤リブレース <sup>※4</sup> (調達・製造期間含む)			燃料取替機制御盤リブレース <sup>※4</sup> (調達・製造期間含む)		※4：工程調整
	変更後						天井クレーン制御盤リブレース <sup>※4</sup> (調達・製造期間含む)		燃料取替機制御盤リブレース <sup>※4</sup> (調達・製造期間含む)		
3号炉	変更前					天井クレーン制御盤リブレース <sup>※4</sup> (調達・製造期間含む)		燃料取替機制御盤リブレース (調達・製造期間含む)			
	変更後	<凡例> ■ : 検討および作業の期間 ■ : 実績 ■ : 変更内容 ■ : 工程見直し中					天井クレーン制御盤リブレース <sup>※4</sup> (調達・製造期間含む)		燃料取替機制御盤リブレース (調達・製造期間含む)		

# ＜核燃料物質の搬出＞ 第1段階における工程（2 / 2）

年度	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	備考
4号炉	変更前		燃料取替機点検	使用済制御棒の移送※1					使用済燃料乾式貯蔵施設へ搬出※3		※1：サイトバンカ天井クレーン不具合により中断し、再開時期検討中 ※2：工程調整 ※3：工程検討中
						天井クレーン制御盤リブレース※2 (調達・製造期間含む)	燃料取替機制御盤リブレース (調達・製造期間含む)				
4号炉	変更後		燃料取替機点検	使用済制御棒の移送※1					使用済燃料乾式貯蔵施設へ搬出※3		※2：工程調整 ※3：工程検討中
							燃料取替機制御盤リブレース (調達・製造期間含む)		天井クレーン制御盤リブレース※2 (調達・製造期間含む)		
共通・その他	変更前	乾式貯蔵施設の設計・建設※4									※4：工程検討中（28ページ参照） ※5：工程調整
			サイトバンカ設備調査・点検	キャスク建屋天井クレーン修理※5	協力企業棟解体撤去						
共通・その他	変更後	乾式貯蔵施設の設計・建設※4									※4：工程検討中（28ページ参照） ※5：工程調整
			サイトバンカ設備調査・点検	キャスク建屋天井クレーン修理※5	協力企業棟解体撤去						

＜凡例＞

- ： 検討および作業の期間
- ： 実績
- ： 変更内容
- ： 工程見直し中

## 実行計画における主要な作業工程

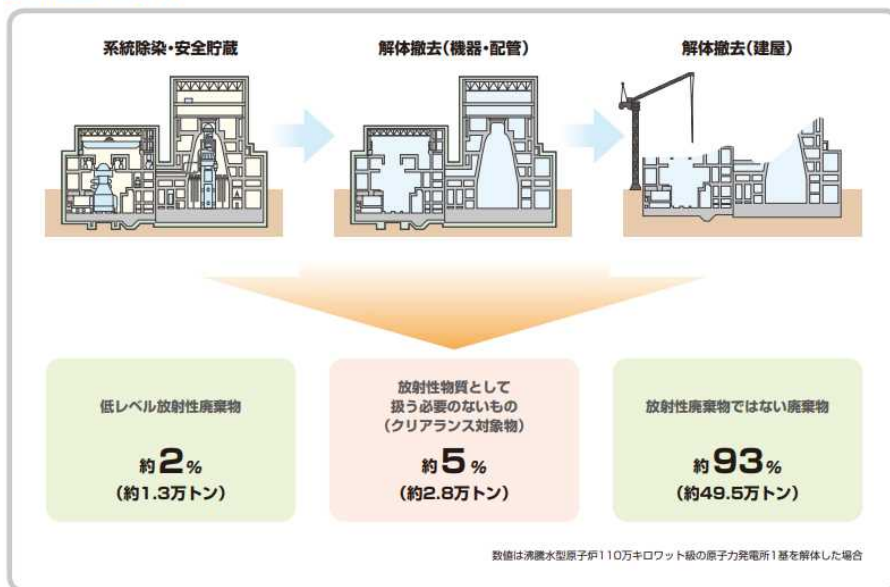
---

- ① 汚染状況の調査
- ② 核燃料物質による汚染の除去
- ③ 管理区域外設備の解体撤去
- ④ 核燃料物質の搬出
- ⑤ 廃棄物の処理処分

# ＜廃棄物の処理処分＞ 廃止措置により発生する廃棄物

- 廃止措置に伴い発生する放射性固体廃棄物の処分方策については、今後、電力会社共通の課題として国の協力をいただきながら整備していきます。
- 当社としても可能な限り早期に整備できるよう努力してまいります。

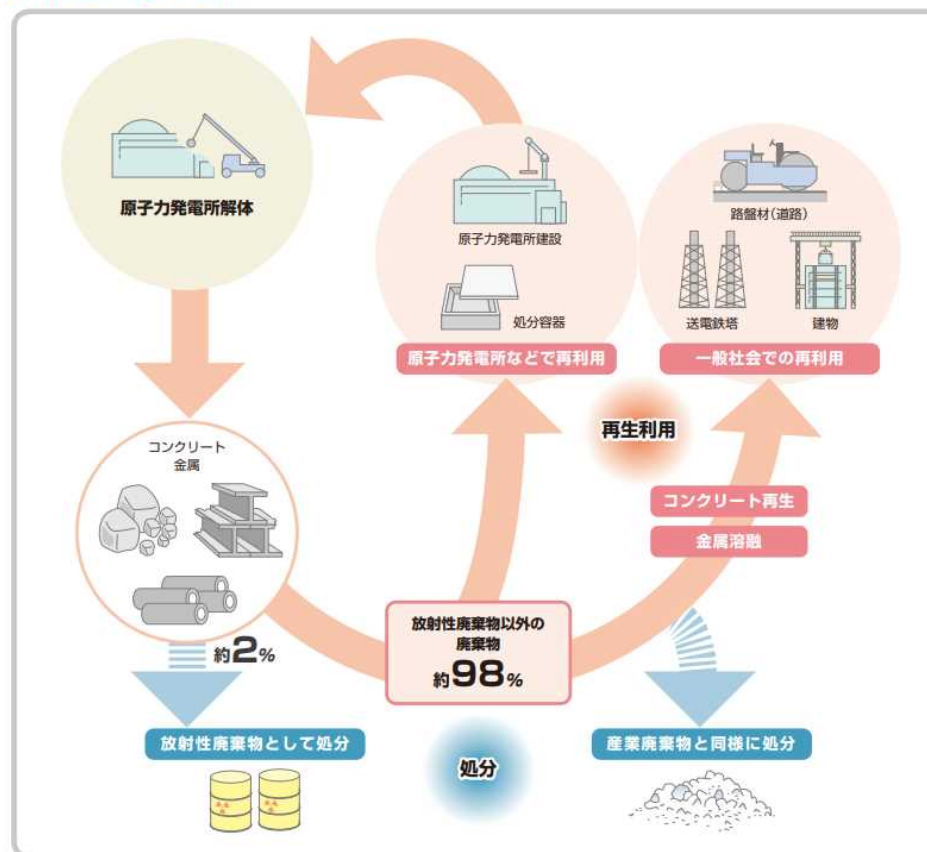
■ 廃止措置のステップ



出典: 原子力安全・保安院「原子力施設におけるクリアランス制度の整備について」

**クリアランス制度：**  
原子力発電所の運転や廃止措置に伴って発生する放射性廃棄物のうち、放射性物質の放射能濃度が低く、人の健康への影響がほとんどないものについて、国の認可・確認を得て、普通の廃棄物として再利用又は処分できる制度

■ 解体廃棄物のリサイクル



出典: 原子力安全・保安院「原子力施設におけるクリアランス制度の整備について」より作成

出典：電気事業連合会 放射性廃棄物 Q & A

## ＜廃棄物の処理処分＞ 解体撤去物の処分例

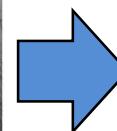
- 原子力発電所から発生する除却品のうち、国の基準を満たすものについては、産業廃棄物として処分または資源として有効利用し、廃棄物の低減に努めています。



2022年5月 窒素供給装置



設備表面の放射線測定



2023年6月 解体撤去後

- 原子炉施設の一部である窒素供給装置（窒素タンク等）を解体撤去するにあたり、金属として再利用することを想定し、設備の放射能測定・評価を実施
- 評価結果が国の基準を満たすことを確認後、金属として売却処分済（2022年度実績）

## ○2025年度の主な進捗

### ● 固体廃棄物貯蔵庫での貯蔵（運転中より継続）および処分の準備

- 固体廃棄物貯蔵庫にて保管を継続しています。
- 固体廃棄物の適切な処理処分のため、モルタル供給装置等の関連設備を更新しました。

【モルタル供給装置】

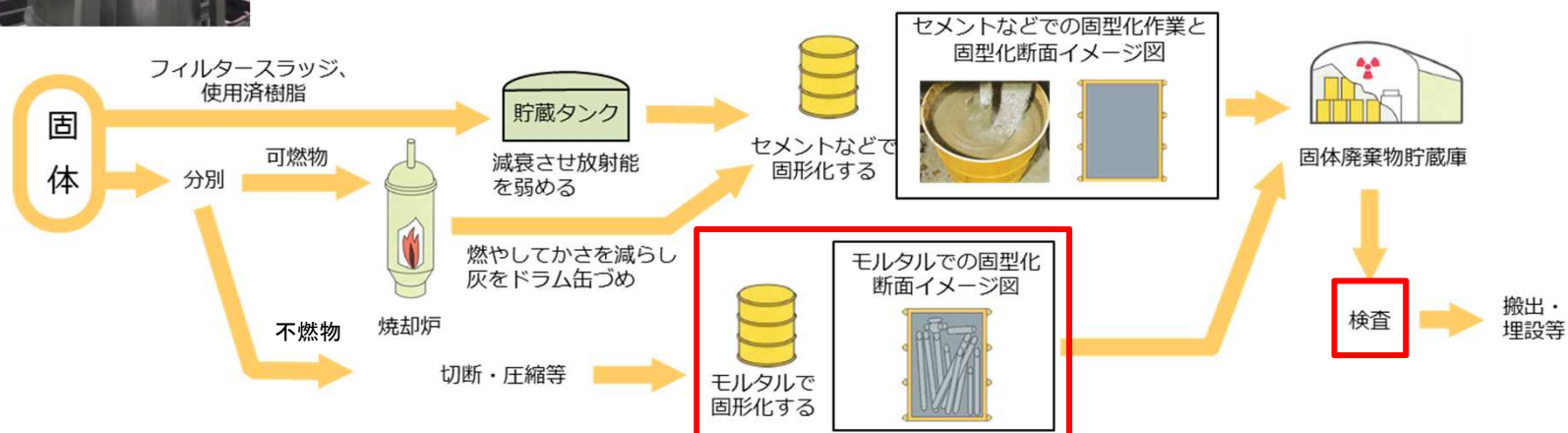


ドラム缶に入れた固体廃棄物をモルタルで固型化するための設備  
2025年6月25日竣工

【低レベル放射性廃棄物搬出検査装置】



埋設される固体廃棄物ドラム缶が埋設基準を満たしているかを確認するための装置  
2025年3月27日竣工



## ○2026年度以降の計画

### ●濃縮廃液の処理処分（詳細検討中）

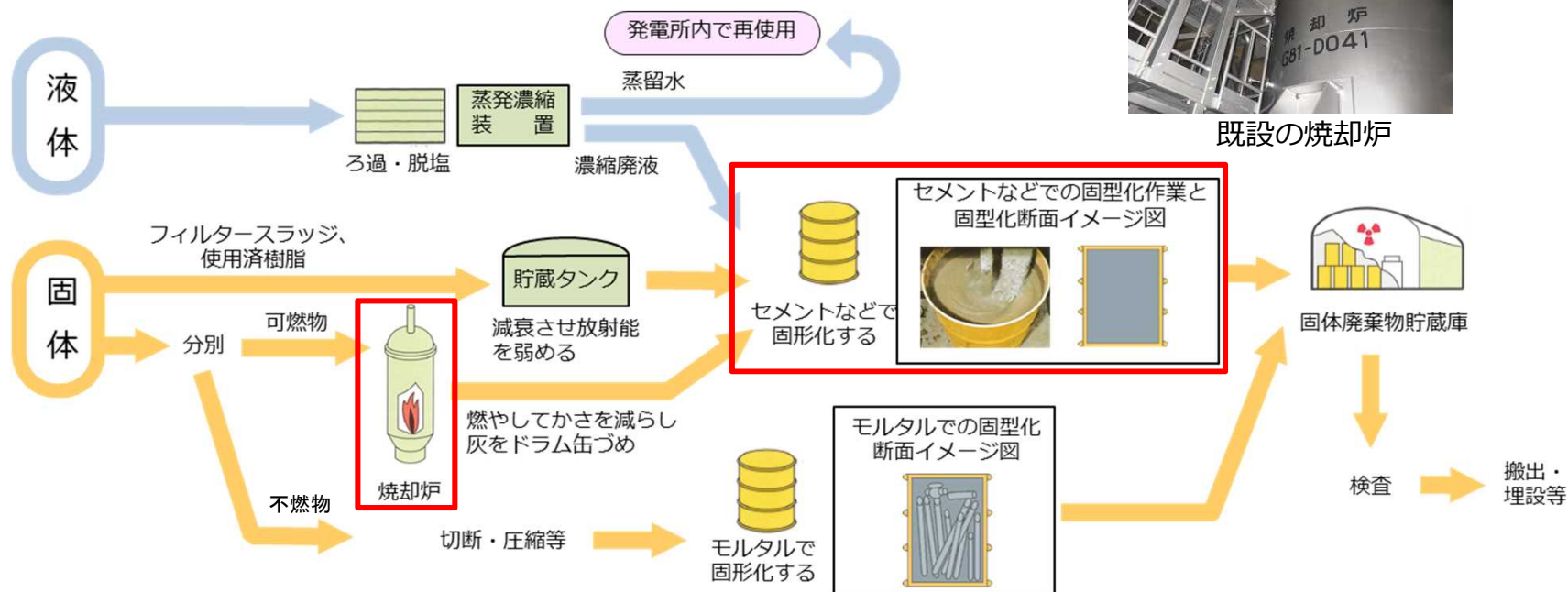
- 既設の固化設備では埋設基準を満足する固型化が困難なため、当社を含む他発電所でも実績のあるセメント固化設備に変更します。

### ●使用済樹脂の焼却処分（詳細検討中）

- 既設の焼却炉にて減容処理ができなかった廃棄物と、今後廃止措置期間中に発生する廃棄物を減容処理するため、焼却炉を更新します。



既設の焼却炉



## ＜廃棄物の処理処分＞ 廃止措置以降の廃棄物の処分量

### ○2025年度末までの廃棄物の処分量※1

(単位：t)

レベル区分		1号炉	2号炉	3号炉	4号炉
低レベル 放射性 廃棄物	放射能レベルの比較的 高いもの（L1）	-	-	-	-
	放射能レベルの比較的 低いもの（L2）	-	-	-	-
	放射能レベルの極めて 低いもの（L3）	-	-	-	-
放射性物質として 扱う必要のないもの		-	-	-	-
放射性廃棄物でない廃棄物※2		216.14	9.75	7.32	7.20
合計		216.14	9.75	7.32	7.20

- ※1 処分量とは、放射性廃棄物として処分もしくは産業廃棄物として処分または資源として有効利用した量を示す。
- ※2 放射性廃棄物でない廃棄物とは、管理区域内において放射性物質によって汚染されていない廃棄物。また、管理区域外において福島第一原子力発電所由来の放射性物質の降下物の影響を受けていない廃棄物（原子力施設の付帯設備・機器等に限る）。なお、設備の取替により発生したものを含む。

# ＜廃棄物の処理処分＞ 第1段階における工程

年度		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	備考	
1 ～ 4 号 炉	変更前	固体廃棄物貯蔵庫での保管 ※1										※1：2031年度以降も継続 ※2：作業工程の見直し	
		処分の準備（関連設備更新）※2											
	変更後	固体廃棄物貯蔵庫での保管 ※1											
		処分の準備（関連設備更新）※2											
	使用済樹脂の焼却処理		焼却炉の更新に向けた検討および工事 ※1										※1：2031年度以降も継続
	濃縮廃液の処理		セメント固化設備設置に向けた検討および新設工事										
放射性廃棄物でない廃棄物の処理処分		※1									※1：2031年度以降も継続		
放射性液体廃棄物の処理処分		※1									※1：2031年度以降も継続		
放射性気体廃棄物の処理処分		※1											

＜凡例＞  
：検討および作業の期間  
：実績  
：変更内容